



## 5月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和4年5月2日

五月晴れに、こいのぼりがはためく季節となりました。子どもたちは、こいのぼりを捕まえようと、青空に向かってジャンプしている姿が可愛らしいです。

さて、入園、進級から3週間が経ちました。新入園児や進級児のお子さんも新しい環境になり、緊張の連続で過ごされていたことと思います。0・1・2歳児さんは、先生と1対1の関わりを求め、それぞれの思いを満たしてあげることでご機嫌に過ごせるようになっていきます。また、早いお迎えのご協力をいただきありがとうございました。無理せずお子さんのペースで少しずつ慣れていくことが、園生活が楽しくなる秘訣だと思っております。

朝親御さんと離れるとき泣いていた年少さんも、お部屋ではお友だちが楽しく遊んでいる様子を見て、自分もやりたいという気持ちが芽生え、好きな遊びに取り組んでいます。

年中さんは、たけのこやこいのぼり、母の日の絵やプレゼント作りなど、ばら組の時の経験を生かして、意欲的に季節のお制作に取り組んでいます。

年長さんは、カラーポリ袋で作った大きいこいのぼりに、一人ひとりが作った小さいこいのぼりを貼ってテラスに飾りました。出来上がったこいのぼりを見てN君が、「ママが赤ちゃんを連れてみたい」と、N君には1歳の弟がいて、いつもママに抱っこされている様子を見ているからか、優しいお兄さんの発言に豊かな感性を感じました。また、お部屋ではいろいろな材料を工夫してお菓子を作り、レジでお金のやり取りをして、自発的にお店屋さんごっこを楽しんでいます。今後も子どもたちがいつも楽しく遊べるよう環境構成を整えて、子どもたち一人ひとりに寄り添っていきたいと思います。

『夏も近づく八十八夜〜♪』という歌があります。立春から八十八日目に摘み取られたお茶は昔から不老長寿の縁起物と言われております。お茶にはカテキンやビタミンCがたくさん含まれていますので、お茶を飲んで元気な体で遊びましょう。水筒の中にもお茶を入れて来られる方がおりますが、うがいにも効果的ですのでコロナ予防のためにも、是非試してみてください。

新型コロナウイルス感染症も、いわき市においては、連日100名を超える感染が確認されている状況であることに加え、県内ではオミクロン株よりも感染力が強いとされる派生型「BA・2」への置き換わりが急速に進んでいるとの報道もあり、今後も更なる感染拡大が懸念されています。4月18日～5月15日までは「いわき市新型コロナ・家族で感染を防ぐGW集中対策期間」として、ゴールデンウィークの時期を迎え、こども同士あるいは家族間において、感染防止対策の徹底を呼び掛けられています。つきましては、引き続き「手洗い」「消毒」「換気」「感染が多い地域への外出は避ける」「感染対策を取っていないお店では飲食をしない」「人ごみを避ける」など、感染拡大対策を心掛けて過ごしていきましょう。